

日頃から防災対策を強化

コミュニケーションを大切に

笑顔が見える支え合い

お互いに見守り支える仕組み

健康を守り応援するまち

健診・検診を推進

まさよ通信



一緒に考え、一つ先へ、一步を踏み出す郡上に。

7月に熊本で震度7という大きな地震が起きました。また千葉県では線状降水帯が発生し大雨が降り、大きな被害となりました。その後も、北陸や東海地方にも線状降水帯が発生し大きな被害となり、各地でも大雨で被害を受けられました。亡くなられました方には心よりお悔やみを申し上げ、被災されました方々には心よりお見舞いを申し上げます。ネパールでは氷河が解け土石流となり、大きな災害となりました。心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。今一度、温暖化や気候変動について考え、私たちの暮らしや未来のためにできることを皆さんと一緒に考えていきましょう。

令和8年 第5回定例会報告

令和8年9月3日から9月25日

条例関係(一部改正)/R7年度決算認定/R8年度補正予算/契約/議発など31件(一部抜粋)

郡上市社会教育施設設置条例の一部を改正する条例

- ① 郡上市公共施設適正配置計画に基づき、美並南部コミュニケーションセンターを廃止

郡上市印鑑条例の一部を改正する条例

- ① 登録事項から「性別」を削除
② 非漢字圏外国人の氏名カタカナ表記を登録事項に追加
③ 印鑑登録原票を電子データで作成できる規定を整備

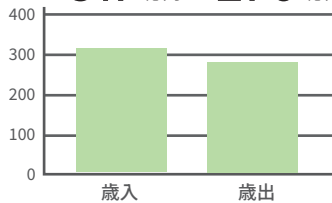
令和7年度決算認定

会計別

(億円)

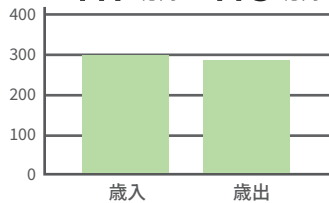
一般会計

317 億円 290 億円



特別会計

117 億円 113 億円



事業別

(億円)

水道事業
(収益)

歳入 13.8
歳出 12.4

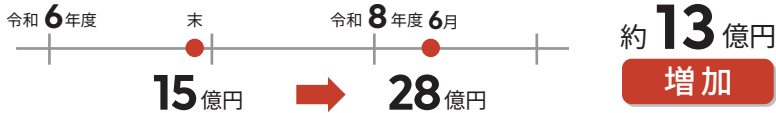
下水道事業
(収益)

歳入 22.2
歳出 21

病院事業
(収益)

歳入 43.2
歳出 43.5

財政調整基金の推移



令和7年度の繰越金などは、令和7年度末の決算に含めず、令和8年度に入ってからの方政調整基金へ積み立て。

職員の努力も背景に、市民の皆様のご理解により財政調整基金は増加しました。しかし、依然厳しい財政状況の中大切な税金をより効果的に執行し、持続可能な郡上市を目指していただきたい。

工事請負契約の締結について

< 美並地域統合小学校 校舎新築 >

建築工事：株式会社 高垣組

電気工事：株式会社 郡上電機

設備工事：株式会社 和田梅

請願

国に対し非核三原則の堅持を求める意見書提出に係る請願 (賛成少数で不採択)

議発

観光客の冬季安全対策を求める意見書

冬季観光客の増加に伴い車両の立ち往生や重大事故が懸念されるなか、冬用タイヤ装着義務化等の法整備や経路の安全確保などを国に求める



田代 まさよ

携帯 090-5036-3971

住所 郡上市白鳥町中西488-1

E-mail masayo.t4881@gmail.com

過去の通信が
閲覧可能

公式Webサイト

友だち登録で
毎号通信が届く

LINE友だち

9月定例会 私の質問と市の答弁

県北西部地域医療センターについて

質問 市民の皆さんに県北西部地域医療センターの取組みなどを知っていただくことも、これからの地域医療を考える上で大切なことと考える。センターの役割や取組みは

答弁 蓑島国保白鳥病院事務局長

県の北西部にあたる郡上市、高山市荘川地区、白川村の地域医療を支えるための組織。市内の白鳥病院が基幹病院となり、和良・高鷲・小那比・石徹白の診療所のほか、小川出張診療所及び和良介護老人保健施設と和良歯科診療所も含まれる。目的は医師不足や人口減少の問題から地域医療を縮小せざるを得ない社会情勢の中でも、地域医療を確保、維持していくために設置。役割は医療機関同士が連携し、へき地医療を支える事。在宅医療や地域医療のほか、地域医療を目指す学生・医師の研修や勤務地の受け皿にもなっている。取組みとしては、生活の場やコミュニティと繋がり続けることができるように、生活支援【訪問診療・介護・看護の实地】、健康増進【ヘルスプロモーションの实地、市民講座・オープンカフェの開設】、未来創造【オンライン診療、移動診療車(医療MaaS)の活用、研修会の实地、人材育成、人材出向】などがある。広域ネットワークによる地域医療確保にかかる取組みは今後の地域医療の在り方の一つのモデルである。

質問 10年先を見据えてセンターを地域医療の拠点としてどう活かすのか

答弁 山川市長

昨年導入した高性能カメラを搭載した医療MaaSがこれからの医療を変えてくれると思う。診療所で診察を受ける体系から、集会所を利用し医療MaaSと組み合わせ、よりきめ細かな医療が提供でき診療所の数を少なくしていく効果がある。センターの受け持つ仕事は大きなものであり、白川村、高山市とともに今後の発展的な運営のあり方を考えている。



災害関連死について

質問 一般避難所での生活が困難な方に対し、どのような支援や配慮を行うのか

答弁 山下健康福祉部長

市では、災害時の避難に際して特に支援を必要とする方について、避難行動要支援者名簿を作成している。災害発生時には、名簿を活用し関係機関と連携し、安否確認や状況把握を行い必要な支援につなげている。一方で、福祉避難所の指定も行っていて、要配慮者に対し心身の特性に応じた避難環境を提供している。生活などにおける身体的・精神的負担を大きく軽減できる環境である。専門職員が配置または巡回することで、避難生活の長期化により心身が機能低下する二次被害や持病の悪化を防ぐことができる。



質問 災害時に避難場所に来ていない人をどう把握するのか。その体制はあるのか、今後の取組は

答弁 村瀬総務部長

災害時に本人から申し出がない限り所在や人数など特定・把握は非常に困難。体制づくりでは、地域内でお互いの避難状況を共有できる工夫など、被災者を把握できる実効性の高い手法を研究していく。関連死を防ぐためには、日頃からの備えや、「事前防災」の取組みが不可欠である。

まさよの
思い

市では9月より郡上市の公式LINEアプリができました。そのアプリを活用して災害があった時に安否確認などができるような仕組みも取り入れていただきたい。